

来週の「売り物記事」はこれ



2017年5月12日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「イクメン」の原動力を探る

NPO「ファザーリング・ジャパン」の10年

14日(日)



「笑っている父親になろう」を合言葉にNPO「ファザーリング・ジャパン」(FJ)が結成されて先月で10年がたちました。育児をする父親を指す「イクメン」という言葉は社会に浸透し、現在のFJは育児に理解のある職場の上司「イクボス」などの普及に努めています。代表理事の安藤哲也さんは「イクメンのカリスマ」とも評されてきましたが、自分



の家では理想的な父親であり続けていたわけではなかった、といいます。安藤さんの人生を軸に、FJのチャレンジの原動力を探ります。筆者は編集編成局校閲グループの浜田和子記者です。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

森友問題で「そんたく」疑惑

官僚の「吏道」は廃れたか

夕刊特集ワイド 15日(月)



森友学園問題では国有地の払い下げなどを巡り、役所の「そんたく」の有無が問題視されました。官僚側は否定しますが、お茶の間の疑念は晴れません。そこで改めて問われているのが「吏道」(官吏として守るべき道=大辞林)です。公平無私に国家を支えるべき官僚が「安倍1強」を恐れて保身に走ってはいないか——そんな声さえ聞かれる今、吏道とはどうあるべきなのでしょう。評論家の佐高信さんと考えました。

五月病に効く料理

くらしナビA面 16日(火)

新年度が始まり、もう1カ月が過ぎました。大型連休も終わって、体に疲れがたまる時期。食で体を整え、五月病に気をつけることが大切です。4月に歓迎会などで外食が多かった人は、外では味の濃いものを食べるので、家では薄い味のものをお勧め。特に野菜を食べたいものです。食物繊維と海藻類が取れ、お手軽に作れる料理を紹介します。



調べました

くらしナビA面 17日(水)



読者の素朴な疑問を取材する「調べました」。今回は「高速道路の休日割引の仕組み」「日本人の魚の消費量ベスト10」「ヘルプマークって何」の3本です。2015年に日本の1人当たり年間消費量が多かった魚介類はサケ、マグロ、イカの順でした。50年前はアジ、イカ、サバの順です。この間、食卓にどのような変化が起き、なぜサケの人気が出たのでしょうか。

6月に「熟年婚活」を出版する予定の作家・僧侶の家田さん=写真。女優志望でしたが、出版社で「最近流行していること」を話したことから、「記事を書いてみないか」と誘われ、取材記者に。多くの女性を取材し、苦しむ姿をみているうちに相談できる「ミニ駆け込み寺」を構想して出家もしました。嫌なことに振り回されずに生きるためにどうすればよいか語りました。



日本人と痛み 「痛みに耐える」を考える

オピニオン面[論点] 17日(水)



大相撲春場所で新横綱、稀勢の里は場所中のけがを押して出場を続け、奇跡の逆転優勝を果たして日本中に感動を巻き起こしました。痛みに耐える姿は時に見る者に深い感銘を与えますが、角界からは横綱に同情は無用との声も。国民の6人に1人が慢性の痛みを抱える日本。医療現場では、痛みを「耐える文化」ゆえの診断や治療の遅れも指摘されています。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

稀勢の里、3連覇なるか

大相撲夏場所 14日(日)～28日(日)

スポーツ面

大相撲夏場所は14日、東京・両国国技館で初日を迎えます。注目は横綱として初めて国技館の土俵を踏む稀勢の里=写真=。優勝すれば3場所連続優勝、さらに新横綱場所から2場所連続Vとなれば1962年初場所の大鵬以来の快挙です。もちろん先場所途中休場からの復活を目指す白鵬をはじめ、日馬富士、鶴竜のモンゴル横綱勢も逆襲を狙います。また初場所11勝、春場所12勝を挙げた関脇・高安にとっては「大関取り」の場所。土俵の熱気を毎日新聞の紙面から感じてください。

